



QPS 8.0 ガイド

目次

QPS 8.0 ガイド.....	5
QPSコンポーネント.....	6
サーバーコンポーネント.....	6
その他のオプションのコンポーネント.....	6
クライアントコンポーネント.....	6
必要システム構成.....	8
QPS Server : Mac OS.....	8
ハードウェア.....	8
ソフトウェア.....	8
サポートされるプラットフォーム*.....	8
QPS Server : Windows.....	9
ハードウェア.....	9
ソフトウェア.....	9
サポートされるプラットフォーム*.....	9
QPS Database*.....	9
QPS File Server : Mac OS.....	10
ハードウェアオプション.....	10
ソフトウェア.....	10
サポート対象のプラットフォーム*.....	10
QPS File Server : Windows.....	10
ハードウェア.....	10
ソフトウェア.....	10
サポート対象のプラットフォーム*.....	11
QPS File Server : Solaris.....	11
ハードウェア.....	11
ソフトウェア.....	11
QPS Connect Client : Mac OS.....	11
ハードウェア.....	11
ソフトウェア.....	11
サポートされるプラットフォーム*.....	11
QPS Connect Client : Windows.....	12
ハードウェア.....	12
ソフトウェア.....	12

サポート対象のプラットフォーム*	12
QPS Web Hub	12
推奨ハードウェア構成	13
小規模のQPSトラフィック	13
中規模のQPSトラフィック (オプション1)	14
中規模のQPSトラフィック (オプション2)	14
大規模のQPSトラフィック	15
QPSソフトウェアのインストール	17
QuarkXPress Serverのインストール	17
QuarkXPress Server用QPS XTensionsソフトウェアのインストール	17
Mac OS	18
Windows	18
QPS Databaseのインストール	18
QPS Databaseのインストール — HSQL DB	18
WindowsでのQPS Databaseのインストール — MS SQL Server	18
WindowsでのQPS Databaseのインストール — Oracle	19
Linux上のOracleのQPSスキーマの設定	20
QPS Serverのインストール	21
Mac OS	21
Windows	22
QPS Script Manager	24
QPS Connect Clientのインストール	24
Mac OS	24
Windows	24
インストール後に変更を行うには	24
QuarkXPress Server Managerへのアクセスの保証	24
QuarkXPress Server口ケーブルの識別	25
QuarkXPress Serverの更新	25
QPS Connect Clientのインストール内容の更新: Windows	25
QPS ServerへのRAMの割り当て	26
QPS XTensionsソフトウェアのインストール	27
Mac OS	27
Windows	28
QPSソフトウェアのアップグレード	29
QPS Serverの更新 (Mac OS)	30
QPS Serverの更新 (Windows)	31
QPS Databaseの更新 (Windows)	31
QPS Databaseの更新 (Oracle)	31

QPS Serverの起動.....	33
Mac OS.....	33
Windows.....	33
QuarkXPress Serverとサブレンダラーの再起動の自動化.....	33
Mac OS.....	34
Windows.....	34
アンインストール.....	35
QPS Serverのアンインストール.....	35
Mac OS.....	35
Windows.....	35
QPS Connect Clientのアンインストール.....	35
Mac OS.....	35
Windows.....	36
QPS XTensionsソフトウェアのアンインストール.....	36
最終段階での変更.....	37
既知および解決済みの問題.....	38
Quarkへの連絡.....	39
南北アメリカ.....	39
南北アメリカ以外の国々.....	39
オーストラリア.....	40
法律上の注記.....	41

QPS 8.0 ガイド

Quark Publishing System® (QPS®) を導入すれば、ワークグループの出版者はアプリケーションやサーバーのネットワークシステムを介してファイルやタスクを統合できるようになります。本書には、ハードウェア要件およびソフトウェア要件の評価、環境の準備、およびQPSのインストールに関する重要な情報が含まれています。

QPSコンポーネント

QPS 8.0には、サーバーコンポーネントおよびクライアントコンポーネントが含まれています。これらのコンポーネントは、下記のハードウェアおよびソフトウェアの構成で正常に動作することが確認されています。

サーバーコンポーネント

- QPS Serverソフトウェア
- QPS File Server
- QuarkXPress® Server (最小システム構成およびインストール手順については、*QuarkXPress Server ReadMe*ファイルを参照してください)
- Quark® License Administrator (QLA) 4.5 (Quarkソフトウェアのライセンス管理用)

その他のオプションのコンポーネント

- Oracle® 10.2.0.4 (Windows®またはLinux) を使用したQPSデータベース。Linux上でOracleデータベースを使用する場合は、まずOracleをインストールして、本書の「[Linux上のOracleのQPSスキーマの設定](#)」の手順に従ってください。
- Service Pack 2 (SP2) を適用したStandard EditionのMicrosoft® SQL Server® 2005を使用するQPSデータベース
- QPS Script Manager (タスクの自動化)

クライアントコンポーネント

- QPS Connect Client
- QuarkCopyDesk用のQPS XTensions®ソフトウェアを搭載したQuarkCopyDesk® 8.0 (最小システム構成とインストール手順については、QuarkCopyDeskアプリケーションフォルダのルートレベルにある"Documents"フォルダ内の"QuarkCopyDesk ReadMe"ファイルを参照してください)

- QuarkXPress用のQPS XTensionsソフトウェアを搭載したQuarkXPress 8.0 (最小システム構成とインストール手順については、QuarkXPressアプリケーションフォルダのルートレベルにある"Documents"フォルダ内の"QuarkXPress ReadMe"ファイルを参照してください)
- QPS Web Hub (Internet Explorer® 7.x (Windows) 、 Mozilla® Firefox® 2.x (Mac® OSまたはWindows) 、またはApple® Safari®のバージョン3.1.x以降 (Mac OS) が必要になります)

必要システム構成

下記のQPS 8.0の必要システム構成は一般的な要件に対応するものです。システムパフォーマンスは、ユーザー数やアセット数、アセットリビジョン数によって変動します。アスタリスクが付いた要件は、これらの可変条件によって左右されます。これらの可変条件を考慮するための指針については、「[推奨ハードウェア構成](#)」を参照してください。必要なRAM容量には、他のサードパーティアプリケーションに必要なメモリは考慮されていません。したがって、要件に合わせて必要なRAM容量は確保してください。また、QuarkXPressおよびQuarkCopyDeskの要件は下記のリストに含まれていません。必要システム構成については、これらのアプリケーションのReadMeファイル（アプリケーションフォルダのルートレベルにある"Documents"フォルダ内）を参照してください。

QPS SERVER : MAC OS

ハードウェア

- 合計4GBのRAM（少なくとも、RAMの合計空き容量の半分をQPS Serverに割り当てることをお勧めします。詳細については、「[QPS ServerへのRAMの割り当て](#)」を参照してください。）
- 1GBのハードディスクの空き容量*
- TCP/IPネットワーク（Gigabit Ethernetを推奨）

ソフトウェア

- Mac OS X 10.4.11またはMac OS X 10.5.5
- Java™ Development Kit (JDK™) 1.5
- Quark License Administrator (QLA) 4.5（QPS ServerおよびQuarkXPress Serverに必要になります）
- QuarkXPress Server 8.0（QuarkXPress ServerはQPS Serverに必要になります）。パフォーマンスを向上するために、QPS ServerとQuarkXPress Serverはそれぞれ別のコンピュータにインストールして実行することをお勧めします。

サポートされるプラットフォーム*

- G5 PowerPC®プロセッサまたはIntelプロセッサ（推奨）

- Mac OS X Serverソフトウェアを実行するG5 Xserve®
- Mac OS X Serverソフトウェアを実行するMac Pro
- Mac OS X Serverソフトウェアを実行するIntel® Xserve

QPS SERVER : WINDOWS

ハードウェア

- 合計4GBのRAM (QPS Serverにできるだけ多くのRAMを割り当てることをお勧めします。ただし、Windowsで約1.6GBを超える割り当てを行うことはできません) *
- 1GBのハードディスクの空き容量*
- TCP/IPネットワーク (Gigabit Ethernetを推奨)

ソフトウェア

- Standard EditionまたはEnterprise EditionのMicrosoft Windows 2003 Server SP2
- .NET framework 2.0 / 3.0
- Java Development Kit (JDK) 1.5
- Quark License Administrator (QLA) 4.5 (QPS ServerおよびQuarkXPress Serverに必要になります)
- QuarkXPress Server 8.0 (QuarkXPress ServerはQPS Serverに必要になります)。QPS Serverをインストールおよび実行するコンピュータとは別のコンピュータでQuarkXPress Serverをインストールおよび実行し、パフォーマンスを向上させることをお勧めします。

サポートされるプラットフォーム*

- マルチコアXeon®プロセッサベースのサーバー
- Intel® Core™ 2 Duo

QPS DATABASE*

- 埋め込みモードのHSQL DB 1.8 (インストール時にHSQL DBを選択した場合、QPS Serverインストーラによってこのデータベースが埋め込みモードでインストールされます)
 - Service Pack 2 (SP2) を適用したStandard EditionのMicrosoft SQL Server 2005
 - Oracle Database 10gリリース2 (10.2.0.4) (Red Hat Enterprise Linux 5またはWindows Server 2003)
- ➡ Microsoft SQL Serverデータベースを使用する場合、まずMicrosoft SQL Serverをインストールする必要があります。WindowsでOracleデータベースを使用する場合には、まずOracleをインストールする必要があります。次に、インストーラである"QPS Server.exe"をWindows

で実行してQPS Databaseのインストールをクリックし、画面の指示に従って、QPSスキーマをMicrosoft SQL ServerデータベースまたはOracleデータベースに作成します。

- ➡ Linux上でOracleデータベースを使用する場合は、まずOracleをインストールして、「[Linux上のOracleのQPSスキーマの設定](#)」の手順に従ってください。Oracle 10.2.0.4を使用します。

QPS FILE SERVER : MAC OS

ハードウェアオプション

- 合計2GBのRAM*
- 5～150GBのハードディスクの空き容量 (アセット数によって異なります)*
- TCP/IPネットワーク (Gigabit Ethernetを推奨)

ソフトウェア

- Mac OS X 10.4.11またはMac OS X 10.5.5

サポート対象のプラットフォーム*

- Mac OS X Serverソフトウェアが稼働しているG5 Xserve
 - Mac OS X Serverソフトウェアが稼働しているMac Pro
 - Mac OS X Serverソフトウェアが稼働しているIntel Xserve
 - Mac OS X Serverソフトウェアが稼働しているG5 PowerPCプロセッサ
- ➡ 独立したコンピュータをQPS File Serverとして使用することは可能ですが、QPS File Serverによって読み取り処理と書き込み処理が最適化されるため、QPS ServerをQPS File Serverと同じコンピュータにインストールして実行することをお勧めします。QPS ServerとQPS File Serverを同じコンピュータで組み合わせる場合、QPS File Serverに必要な5～150GBに、QPS Serverのファイル用に1GB (概算値) を追加してください。

QPS FILE SERVER : WINDOWS

ハードウェア

- 合計2GBのRAM*
- 5～150GBのハードディスクの空き容量 (アセット数によって異なります)*
- TCP/IPネットワーク (Gigabit Ethernetを推奨)

ソフトウェア

- Windows 2003 Server SP2、Standard EditionまたはEnterprise Edition

サポート対象のプラットフォーム*

- Windows 2003 Server SP2 Standard EditionまたはEnterprise Edition (推奨) が稼働している Intel vPro™テクノロジーおよびIntel Core 2 Duo
 - Windows 2003 Server SP2 Standard EditionまたはEnterprise Editionが稼働しているシングルプロセッサのIntel® Pentium® 4 / Pentium D / デュアルプロセッサのXeon
- ➡ 独立したコンピュータをQPS File Serverとして使用することは可能ですが、QPS File Serverによって読み取り処理と書き込み処理が最適化されるため、QPS ServerをQPS File Serverと同じコンピュータにインストールして実行することをお勧めします。QPS ServerとQPS File Serverを同じコンピュータで組み合わせる場合、QPS File Serverに必要な5～150GBに、QPS Serverのファイル用に1GB (概算値) を追加してください。

QPS FILE SERVER : SOLARIS

ハードウェア

- SPARC™ベースまたはx64 / x86ベースのシステム
- 合計2GBのRAM
- 5～150GBのハードディスクの空き容量 (アセット数によって異なります) *

ソフトウェア

- Sun™ Solaris™ 8以降

QPS CONNECT CLIENT : MAC OS

ハードウェア

- 合計1GBのRAM*
- プログラムファイル用に500MBのハードディスクの空き容量、チェックアウト済みアセットを格納するための十分なハードディスクの空き容量
- TCP/IPネットワーク

ソフトウェア

- Mac OS X 10.4.11またはMac OS X 10.5.5

サポートされるプラットフォーム*

- Intel Core 2 Duoプロセッサ搭載のiMac®
- Mac OS Xクライアントソフトウェアを実行する、Core 2 Duoプロセッサ搭載のMacBook® Pro

必要システム構成

- Mac OS Xクライアントソフトウェアを実行するMac Pro
- Intel Core Duoプロセッサ搭載のMac mini
- G5 PowerPCプロセッサ

QPS CONNECT CLIENT : WINDOWS

ハードウェア

- 合計1GBのRAM*
- プログラムファイル用に500MBのハードディスクの空き容量、チェックアウト済みアセットを格納するための十分なハードディスクの空き容量

ソフトウェア

- Microsoft Windows XP Professional Edition (SP3)、Windows Vista® BusinessまたはUltimate (SP1)
- .NET Framework 2.0 / 3.0

サポート対象のプラットフォーム*

- Windows XP Professional Editionが稼働しているIntel Core 2 Duoプロセッサ
- Windows XP Professional Editionが稼働しているIntel Xeonプロセッサ
- Windows Vista Business EditionまたはUltimate Editionが稼働しているIntel vProテクノロジーおよびIntel Core 2 Duo
- Windows XP Professional Editionが稼働しているIntel Pentium 4プロセッサ

QPS WEB HUB

- Internet Explorer 7.X (Windows)、Mozilla Firefox 2.X (Mac OSまたはWindows)、またはSafariのバージョン3.1.x以降 (Mac OS)

➡ * 詳細は、「[推奨ハードウェア構成](#)」を参照してください。

推奨ハードウェア構成

以下の要因を考慮して、組織に必要なハードウェアを特定してください。変動要素には、ユーザー数、アセットの数、アセットの種類（サイズの小さいテキストファイル、サイズの大きい画像ファイルなど）、アセットのリビジョン数があります。アセットを検索するとき、QPS Serverのパフォーマンスはマスターファイルの数（各アセットの現在のバージョン）に左右されます。リビジョンの数はQPS Serverのパフォーマンスに影響しませんが、リビジョン番号の変動要素はQPS File Serverに必要なディスク容量に影響します。また、複数のユーザーからの検索処理数を増やしても、QPS Serverのパフォーマンスに影響することがあります。

アカウント管理者に問い合わせて、以下の推奨構成に基づいて組織のニーズを特定してください。小容量、中容量、大容量の各構成は、QPS Connect Clientウィンドウのユーザーアクティビティ画面に表示されるログオンユーザー数（ユーザーセッション数）に基づいた推定です。

小規模のQPSトラフィック

下記の構成で、小規模のQPSワークフロー（約30ユーザーおよび5,000アセット）を適切に処理できます。QPS Database、QPS Server、およびQPS File Serverを1台のコンピュータにインストールできますが、QuarkXPress Serverは別のコンピュータで使用することをお勧めします。

コンピュータ1：QPS Database（HSQL）、QPS Server、QPS File Server

- RAM：4GB（1GBはJava Virtual Machineへの割り当て）
- ハードディスク：1GBの空き容量（アセットに必要な5～150GB以外）
- RAID：不要
- CPU：Dual Core Intel（推奨）
- ネットワーク：ギガビットNIC（推奨）

コンピュータ2：QuarkXPress Server（2つのサブレンダラ）

- RAM：2GB
- ハードディスク：10～20GB（ドキュメントプール用）
- RAID：不要

推奨ハードウェア構成

- CPU : Dual Core Intel (推奨)
- ネットワーク : ギガビットNIC (推奨)

中規模のQPSトラフィック (オプション1)

下記の構成で、中規模のQPSワークフロー (約50ユーザーおよび20,000アセット) を適切に処理できます。QPS Database、QPS Server、およびQPS File Serverを1台のコンピュータにインストールできますが、QuarkXPress Serverコンピュータ用により多くのRAMを割り当てる必要があります。このオプションでは、サーバーコンピュータを2台で構成することを提案しています。

コンピュータ1 : QPS Database (HSQL)、QPS Server、QPS File Server

- RAM : 4GB (1.5GBはJava Virtual Machineへの割り当て)
- ハードディスク : 1GBの空き容量 (アセットに必要な5 ~ 150GB以外)
- RAID : 不要
- CPU : 2つのDual Core Intel (推奨)
- ネットワーク : ギガビットNIC (推奨)

コンピュータ2 : QuarkXPress Server (4つのサブレンダラ)

- RAM : 4GB
- ハードディスク : 10 ~ 20GB (ドキュメントプール用)
- RAID : 不要
- CPU : Dual Core Intel Xeon (推奨)
- ネットワーク : ギガビットNIC (推奨)

中規模のQPSトラフィック (オプション2)

下記の構成で、中規模のQPSワークフロー (約50ユーザーおよび20,000アセット) を適切に処理できます。QPS DatabaseにRedundant Array of Independent Drives (RAID) を使用することで、アセットへのアクセスパフォーマンスが向上します。このオプションでは、サーバーコンピュータを3台で構成することを提案しています。

コンピュータ1 : QPS Database (Microsoft SQL ServerまたはOracle)

- RAM : 4GB
- ハードディスク : 20GBの空き容量
- RAID : RAID 1+0
- CPU : Dual Core Xeon (最新) (推奨)
- ネットワーク : ギガビットNIC (推奨)

コンピュータ2 : QPS Server、QPS File Server

- RAM : 4GB (1.5GBはJava Virtual Machineへの割り当て)
- ハードディスク : 1GBの空き容量 (アセットに必要な5 ~ 150GB以外)
- RAID : 不要
- CPU : Dual Core Intel (推奨)
- ネットワーク : ギガビットNIC (推奨)

コンピュータ3 : QuarkXPress Server (4つのサブレンダラ)

- RAM : 4GB
- ハードディスク : 10 ~ 20GB (ドキュメントプール用)
- RAID : 不要
- CPU : Dual Core Xeon (推奨)
- ネットワーク : ギガビットNIC (推奨)

大規模のQPSトラフィック

下記の構成で、大規模のQPSワークフロー (150ユーザーおよび60,000アセット以上) を適切に処理できます。

コンピュータ1 : QPS Database (Microsoft SQL ServerまたはOracle)

- RAM : 4GB
- ハードディスク : 40GBの空き容量
- RAID : RAID 1+0
- CPU : 2つのDual Core Xeon (最新) 3GHz (推奨)
- ネットワーク : ギガビットNIC (推奨)

コンピュータ2 : QPS Server、QPS File Server

- RAM : 4GB (1.5GBはJava Virtual Machineへの割り当て)
- ハードディスク : 1GBの空き容量 (アセットに必要な5 ~ 150GB以外)
- RAID : 不要
- CPU : 2つのDual Core Intel (推奨)
- ネットワーク : ギガビットNIC (推奨)

コンピュータ3 : QuarkXPress Server (8つのサブレンダラ)

- RAM : 8GB
- ハードディスク : 10 ~ 20GB (ドキュメントプール用)

推奨ハードウェア構成

- RAID : 不要
- CPU : 2つのDual Core Xeon (最新) 3GHz (推奨)
- ネットワーク : ギガビットNIC (推奨)

QPSソフトウェアのインストール

QPS 8には、サーバーおよびクライアントコンポーネントのための、複数のインストーラが含まれます。これらのインストーラは、以下の順序で実行しなければなりません。以下の順序に従わないと、すべてのQPSソフトウェアのインストールを完了した後で手動でファイルをコピーしなければなりません。

- 1 QuarkXPress Serverをインストールします。
- 2 QuarkXPress ServerのQPS XTensionsをインストールします(QPS Serverインストーラに含まれます)。
- 3 QPS Databaseをインストールします。
- ➡ Microsoft SQL ServerデータベースをQPS 8とともに使用するよう設定している場合は、Microsoft SQL Serverソフトウェアのインストール時にWindows認証は使用しないでください。
- 4 QPS Serverをインストールします。
- 5 QuarkCopyDesk 8をインストールします。
- 6 QuarkXPress 8をインストールします。
- 7 QPS Connect Clientをインストールします(このインストーラにより、QuarkCopyDeskおよびQuarkXPressのQPS XTensionsソフトウェアもインストールされます)。

QUARKXPRESS SERVERのインストール

QuarkXPress Serverのインストールについての詳細は、QuarkXPress Serverアプリケーションフォルダのルートレベルにある"Documents"フォルダのQuarkXPress Server 8.0 ReadMe ファイルを参照してください。ポートとフォルダの設定画面が表示されたら、HTTPインターフェイスを使用をオンにしてポート番号を入力します。QPS Serverのインストール時にこのポート番号が必要になるので記録しておきます。また、ファイルシステムのドキュメントプールを使用をオンにし、参照をクリックして場所を指定します。

QUARKXPRESS SERVER用QPS XTENSIONSソフトウェアのインストール

QuarkXPress Server用QPS XTensionsソフトウェアのインストーラファイルをQuarkXPress Serverコンピュータで実行してください。

QPSソフトウェアのインストール

MAC OS

QuarkXPress Server用QPS XTensionsソフトウェアをインストールするには、以下の手順に従います。

- 1 ウィルス防御ソフトウェアをすべて無効にします。コンピュータへのウィルス感染が心配な場合は、インストーラファイルにウィルスチェックを実行し、ウィルス検出ソフトウェアを無効にしてから、インストールを行ってください。
- 2 QPS Server Installerをダブルクリックします。
QPS Serverウィンドウが表示されます。
- 3 QPS XTensions Software for QuarkXPress Serverをインストールしますをクリックします。
認証画面が表示されます。名前とパスワードを入力します。
- 4 続けるをクリックし、ライセンス契約を読んでから、続ける、同意する、インストールの順にクリックします。
XTensionsソフトウェアのファイルがインストーラによってコピーされます。
- 5 終了をクリックして、インストールを終了します。

WINDOWS

QuarkXPress Server用QPS XTensionsソフトウェアをインストールするには、以下の手順に従います。

- 1 ウィルス防御ソフトウェアをすべて無効にします。コンピュータへのウィルス感染が心配な場合は、インストーラファイルにウィルスチェックを実行し、ウィルス検出ソフトウェアを無効にしてから、インストールを行ってください。
- 2 "QPS Server.exe"ファイルをダブルクリックします。Quark Publishing Systemのインストーラが開き、QPS XTensions Software for QuarkXPress Serverをインストールします、QPS Databaseのインストール、QPS Serverのインストールの3つのオプションが表示されます。
- 3 QPS XTensions Software for QuarkXPress Serverをインストールしますをクリックし、画面の指示に従います。

QPS DATABASEのインストール

QPS Databaseのインストール方法には、下記の3つのオプションがあります。HSQL DB、MS SQL Server、およびOracleです。以下の手順に従ってください。

QPS DATABASEのインストール — HSQL DB

QPS Serverインストーラを実行すると、QPSはHSQL QPS Databaseを埋め込むため、このデータベースをインストールするのが最も簡単なオプションです。QPSスキーマをHSQLデータベースにインストールするために独立したデータベースインストーラを実行する必要はありません。詳細は、「[QPS Serverのインストール](#)」を参照してください。

WINDOWSでのQPS DATABASEのインストール — MS SQL SERVER

Microsoft SQL ServerのQPS Databaseをインストールする前に、MS SQL ServerをWindowsにインストールして設定する必要があります。QPS Databaseは、QPS Databaseインストー

ラ ("Installer > Database"フォルダ内の"Setup.exe") またはQPS Server Installer ("QPS Server.exe") を使ってインストールできます。MS SQL ServerのQPS Databaseをインストールするには、下記の手順に従ってください。

- 1 ウィルス防御ソフトウェアをすべて無効にします。コンピュータへのウィルス感染が心配な場合は、 インストーラファイルでウィルスチェックを実行してからインストールの前にウィルス検出ソフトウェアを無効にしてください。
- 2 "Installer > Database"フォルダの"Setup.exe"ファイルをダブルクリックします。
Quark Publishing System Database — 設定ダイアログボックスが表示されます。
- ➡ "QPS Server.exe"ファイルをダブルクリックしてから QPS Databaseのインストールをクリックしても、Quark Publishing System Database — 設定ダイアログボックスにアクセスできません。
- 3 次へをクリックします。
ライセンス契約書画面が表示されます。
- 4 ライセンス契約書の条項に同意します。をクリックしてから次へをクリックします。
データベース情報画面が表示されます。
- 5 データベースタイプ選択ドロップダウンメニューからSQL Serverを選択し、次へをクリックします。
MS SQL Server情報を入力する画面が表示されます。
- 6 ホスト / インスタンス名フィールドに接続文字列を入力します。
- 7 作成するQPS Databaseの名前をデータベースユーザー名フィールドに入力します。
- 8 データベースパスワードフィールドにQPS Databaseのパスワードを入力します。
- 9 データベースインストール先フォルダ領域の参照をクリックして、データベースデータファイルを保存するパスを指定します。
- 10 次へをクリックします。
アプリケーションをインストールする準備ができました画面が表示されます。
- 11 インストールをクリックします。
- 12 インストールが完了したら、完了をクリックします。

WINDOWSでのQPS DATABASEのインストール — ORACLE

OracleのQPS Databaseをインストールする前に、Oracleをインストールして設定する必要があります。Windows上のOracleのQPS Databaseは、QPS Databaseインストーラ ("Installer > Database"フォルダ内の"Setup.exe") またはQPS Server Installer ("QPS Server.exe") を使ってインストールできます。

- ➡ Linux上のOracleのQPS Databaseのインストールについては、「[Linux上のOracleのQPSスキーマの設定](#)」を参照してください。

OracleのQPS Databaseをインストールするには、下記の手順に従ってください。

- 1 ウィルス防御ソフトウェアをすべて無効にします。コンピュータへのウィルス感染が心配な場合は、 インストーラファイルでウィルスチェックを実行してからインストールの前にウィルス検出ソフトウェアを無効にしてください。

- 2 "Installer > Database"フォルダの"Setup.exe"ファイルをダブルクリックします。
Quark Publishing System Database — 設定ダイアログボックスが表示されます。
- ➡ "QPS Server.exe"ファイルをダブルクリックしてからQPS Databaseのインストールをクリックしても、Quark Publishing System Database — 設定ダイアログボックスにアクセスできません。
- 3 次へをクリックします。
ライセンス契約書画面が表示されます。
- 4 ライセンス契約書の条項に同意します。をクリックしてから次へをクリックします。
データベース情報画面が表示されます。
- 5 データベースタイプ選択ドロップダウンメニューからOracleを選択し、次へをクリックします。
Oracleデータベース情報を入力する画面が表示されます。
- 6 インスタンス名フィールドにOracleサービス名を入力します。
- 7 SYSパスワードフィールドにデータベースSYSユーザーのパスワードを入力します。
- 8 作成するQPSスキーマの名前をスキーマ名フィールドに入力します。
- 9 スキーマパスワードフィールドにQPSスキーマのパスワードを入力します。
- 10 データファイル、索引ファイル、およびLOBファイルを保存するパスを、保存先フォルダ領域から選択します。
- 11 次へをクリックします。
アプリケーションをインストールする準備ができました画面が表示されます。
- 12 インストールをクリックします。
- 13 インストールが完了したら、完了をクリックします。

LINUX上のORACLEのQPSスキーマの設定

QPSスキーマを設定する前に、Oracleがコンピュータにインストール済みで、QPSスキーマを設定するデータベースがあることを確認してください。QPS DVDで利用できる、QPSスキーマをOracle用に作成するスクリプトでは、データベースは作成されません。

- 1 "Oracle"フォルダ内の"Create"フォルダを開きます。
- 2 QPSスキーマを作成するには、"CreateAndSetup.sh"(Mac OS/Linux)または"CreateAndSetup.bat"(Windows)を、以下の引数を指定して実行します。
 - SysPwd:データベースのSYSユーザーのパスワード
 - QPPUser:作成するQPSスキーマ名
 - QPPPwd:QPSスキーマのパスワード
 - ServiceName:Oracleサービス名
 - DataDest:データファイルが作成されるパス
 - IdxDest:索引ファイルが作成されるパス
 - LobDest:lobファイルが作成されるパス

- 3 スクリプトは、下記の操作を行います。
 - テーブルスペースの作成
 - スキーマ/ユーザーの作成
 - テーブルの作成
 - 索引の作成
 - プロシージャの作成
 - 設定データの初期化
 - ユーザーデータの初期化
 - 外部キーの作成
 - Quartzスキーマの作成
- 4 上記のそれぞれのタスク用に提供される個々のスクリプトを使うことができますが、"CreateAndSetup.sh"または"CreateAndSetup.bat"を実行してプロンプトに従って情報を入力することをお勧めします。

QPS SERVERのインストール

MAC OS

- 1 ウィルス防御ソフトウェアをすべて無効にします。コンピュータへのウィルス感染が心配な場合は、インストーラファイルでウィルスチェックを実行してからインストールの前にウィルス検出ソフトウェアを無効にしてください。
➡ インストール処理中にバリデーションコードを入力する必要があります。
- 2 QPS Server Installerをダブルクリックします。
QPS Serverウィンドウが表示されます。
- 3 QPS Serverのインストールをクリックします。
認証画面が表示されます。名前とパスワードを入力します。
- 4 続けるをクリックし、ライセンス契約を読み、次へをクリックしてから同意するをクリックします。
ソフトウェアの認証画面が表示されます。
- 5 バリデーションコードを入力して次へをクリックします。
ライセンスサーバーの情報画面にシリアル番号とインストール日が表示されます。
- 6 Quark License Administrator (QLA)コンピュータのIPアドレスまたはホスト名をドメイン名またはIPアドレスフィールドに入力します。
- 7 ポートフィールドにポート番号を入力します。
- 8 QLAバックアップサーバーを使用する場合は、IPアドレスまたはホスト名とポート番号をバックアップドメイン名またはIPアドレスフィールドおよびポートフィールドに入力します。
- 9 次へをクリックします。
データベース情報画面が表示されます。

- 10 手順5で入力したバリデーションコードは選択したデータベースに対応し、データベース選択コントロールにグレーで表示されます。その他のオプションは選択内容によって異なります。
 - HSQLデータベースおよびスキーマを埋め込むことを選択した場合は、デフォルト (埋め込みモードではHSQL DB) がグレーで表示されます。
 - インストール済みのMicrosoft SQL Serverデータベースを使用することを選択した場合は、SQL Serverがグレーで表示されます。Microsoft SQL Serverデータベースサーバーのホスト名、インスタンス名、データベースユーザー名、およびデータベースユーザーパスワードを入力します。詳細は、「[WindowsでのQPS Databaseのインストール — MS SQL Server](#)」を参照してください。
 - Oracleデータベースを使用することを選択した場合は、Oracleがグレーで表示されます。Oracleサーバーのホスト名、インスタンス名、データベースユーザー名、およびデータベースユーザーパスワードを入力します。詳細は、「[Linux上のOracleのQPSスキーマの設定](#)」を参照してください。
- 11 QPS Serverをサービスとして実行するには、Quark Publishing システム(サーバー)をサービスとしてインストールをオンにします。次へをクリックしてインストールを続行します。QuarkXPress サーバー情報画面が表示されます。
- 12 QuarkXPress ServerのIPアドレスとポート番号を入力し、次へをクリックします。インストール先の選択画面が表示されます。
- 13 QPS Serverの場所を選択し、続けるをクリックしてからインストールをクリックします。インストール後にQPS Server Consoleが起動します。
- 14 QPS Serverを起動をクリックしてサーバーを開始できます。

WINDOWS

QPS Serverアプリケーションのインストールは下記の手順に従ってください。

- 1 ウィルス防御ソフトウェアをすべて無効にします。コンピュータへのウィルス感染が心配な場合は、インストーラファイルでウィルスチェックを実行してからインストールの前にウィルス検出ソフトウェアを無効にしてください。
- ➡ インストール処理中にバリデーションコードを入力する必要があります。バリデーションコードは選択するデータベースに関連付けられています (埋め込みHSQLデータベース、Microsoft SQL Server、Oracle)。
- 2 "QPS Server.exe"ファイルをダブルクリックします。次の3つのオプションを持つQuark Publishing Systemのインストーラ画面が表示されます。QuarkXPress Server用QPS XTensionsソフトウェアのインストール、QPS Databaseのインストール、そしてQPS Serverのインストール。
- 3 QPS Serverのインストールをクリックして、次へをクリックします。ライセンス契約書画面が表示されます。
- 4 ライセンス契約書の条項に同意しますをクリックし、次へをクリックします。ソフトウェアの認証画面が表示されます。
- 5 バリデーションコードを入力し、次へをクリックします。License Administrator Service画面がシリアル番号とインストール日とともに表示されます。

- 6 Quark License Administrator (QLA) のコンピュータのIPアドレスまたはドメイン名をドメイン名またはIPアドレスフィールドに入力します。
- 7 ポートフィールドにポート番号を入力します。
- 8 QLAバックアップサーバーを使用する場合は、ドメイン名またはIPアドレスとポート番号をバックアップドメイン名またはIPアドレスおよびポートフィールドに入力します。
- 9 次へをクリックします。
データベース情報画面が表示されます。
- 10 手順5で入力したバリデーションコードは、データベース選択コントロールにグレーで表示される選択したデータベースに対応しています。その他のオプションは、選択によりさまざまです。
 - HSQLデータベースとスキーマの埋め込みを選択すると、デフォルト (埋め込みモードでは HSQL DB) がグレーで表示されます。
 - すでにインストールしたMicrosoft SQL Serverデータベースの使用を選択すると、SQL Serverがグレーで表示されます。Microsoft SQL Serverデータベースサーバーのホスト名、インスタンス名、ポート番号、データベースユーザー名、データベースユーザーパスワードを入力します。詳細については、"[WindowsでのQPS Databaseのインストール — MS SQL Server](#)"を参照してください。
 - Oracleデータベースの使用を選択すると、Oracleがグレーで表示されます。Oracleサーバーのホスト名、インスタンス名、ポート番号、データベースユーザー名、データベースユーザーパスワードを入力します。詳細については、"[WindowsでのQPS Databaseのインストール — Oracle](#)"を参照してください。
- 11 次へをクリックします。
インストール先フォルダ画面が表示されます。
- 12 QPS Server Windowsサービスの設定には、システム選択ドロップダウンメニューのオプションを選択してください。
 - ローカルシステムアカウント制御を指定するには、ローカルを選択します。
 - ドメインユーザー制御を指定するには、ドメインを選択して、ドメイン名、ユーザー名、パスワードを入力します。
- ➡ ドメインを選択した場合は、コンピュータの管理権限を持つアカウント名を入力します。
- 13 次へをクリックします。
QuarkXPress Server情報画面が表示されます。
- 14 QuarkXPress ServerのIPアドレスとポート番号を入力し、次へをクリックします。
アプリケーションをインストールする準備ができました画面が表示されます。
- 15 インストールをクリックします。
インストール後にQPS Server Consoleが起動します。
- 16 QPS Serverを起動をクリックしてサーバーを起動できます。

QPSソフトウェアのインストール

QPS SCRIPT MANAGER

QPS Script Managerでは、QPS Serverのタスクをスクリプトを使用して自動化できます。QPS Script Managerは、"QPS Server"アプリケーションフォルダの"ScriptManager"フォルダにインストールされます。QPS Script Managerを別のコンピュータにインストールするには、QPSの"ScriptManager"フォルダを別のコンピュータにコピーします。

QPS CONNECT CLIENTのインストール

MAC OS

QPS Connect Clientアプリケーションをインストールするには、下記の手順に従ってください。

- 1 ウィルス防御ソフトウェアをすべて無効にします。コンピュータへのウィルス感染が心配な場合は、インストーラファイルでウィルスチェックを実行してからインストールの前にウィルス検出ソフトウェアを無効にしてください。
- 2 "QPS Connect Client Setup.app"ファイルをダブルクリックし、画面の指示に従って操作します。

➡ インストール処理中にバリデーションコードを入力する必要はありません。

WINDOWS

QPS Connect Clientをインストールするには、下記の手順に従ってください。

- 1 ウィルス防御ソフトウェアをすべて無効にします。コンピュータへのウィルス感染が心配な場合は、インストーラファイルでウィルスチェックを実行してからインストールの前にウィルス検出ソフトウェアを無効にしてください。
- 2 "Setup.exe"ファイルをダブルクリックし、画面の指示に従ってください。

➡ インストール処理中にバリデーションコードを入力する必要はありません。

インストール後に変更を行うには

QUARKXPRESS SERVER MANAGERへのアクセスの保証

QuarkXPress Server ManagerをQPS 8 DVDからインストールしなかった場合は、"ManagerConfig.xml"ファイルを編集してQuarkXPress Server ManagerがQuarkXPress Server Managerクライアントアプリケーションに確実にアクセスできるようにしなければなりません。

- 1 "ManagerConfig.xml"ファイルを開きます。
Mac OS:[ドライブ]:QuarkXPress Server Manager
application:Contents:Resources:Java:ManagerConfig.xml
Windows:[ドライブ]\QuarkXPress Server Manager application\Client\Admin\ManagerConfig.xml

- 2 <servercontext>要素を探します。
- 3 <servercontext>/quark/services/qxpsmadmin</servercontext>を、<servercontext>/qxpsm/services/qxpsmadmin</servercontext>に置き換えます。
- 4 "ManagerConfig.xml"を保存しQuarkXPress Server Managerクライアントを起動します。

QUARKXPRESS SERVERロケールの識別

日付や数字の書式などのロケール設定の一貫性を保つために、QuarkXPress Serverコンピュータのロケール設定がQPS Serverで認識される必要があります。QuarkXPress Serverコンピュータのロケール設定によって、日付、時間、および数字の書式が決まります。

QPS ServerのQuarkXPress Serverコンピュータのロケールを設定するには、下記の手順に従ってください。

- 1 QPS Serverアプリケーションフォルダ内の"conf"フォルダを開きます。
- 2 "ServerApp.properties"をテキスト編集アプリケーションで開きます。
- 3 "qxps.locale="エントリーまでスクロールします。
- 4 QuarkXPress Serverコンピュータのロケール設定を入力します。英語の場合はen、フランス語の場合はfr、ドイツ語の場合はdeを入力します。
- 5 "ServerApp.properties"を保存して閉じます。

QUARKXPRESS SERVERの更新

QuarkXPress Serverを別のコンピュータに移動する必要がある場合、QPS Serverを再インストールする必要はありません。代わりにQPS Serverアプリケーションフォルダの"conf"フォルダにある"ManagerConfig.xml"ファイルを編集します。

- 1 QPS Serverアプリケーションフォルダ内の"conf"フォルダを開きます。
- 2 "ManagerConfig.xml"ファイルを開きます。
- 3 <connectioninfo>要素 (manager/hosts/host/connectioninfo) を見つけます。
- 4 <name>要素の値を新しいQuarkXPress ServerのIPアドレスに変更します。
- 5 <port>要素の値を新しいQuarkXPress Server用に指定したポート番号に変更します。
- 6 "ManagerConfig.xml"を保存してQPS Serverを起動します。
- 7 変更を確認するには、"QpsServer.log"ファイルで"Successfully registered with QXPS"という行を探します。

QPS CONNECT CLIENTのインストール内容の更新: WINDOWS

インストール後にQPS Connect Clientソフトウェアに変更を行うには、以下の手順に従います。

- 1 "setup.exe"ファイルをダブルクリックします。QPS — 設定ダイアログボックスが表示されます。
- 2 次へをクリックします。プログラムのメンテナンス画面が表示されます。
 - インストールするQPS Connect Clientファイルを選択するには、設定をクリックします。新しいファイルをインストールするか、すでにインストール済みのファイルを削除できます。

- QPS Connect Clientファイルに関連した軽微な問題を修正するには、修復をクリックします。このオプションは、QPS Connect Clientファイル、ショートカット、またはレジストリエントリが欠如または破損した場合に使用してください。
 - QPS Connect Clientアプリケーションをアンインストールするには、削除をクリックします。
- 3 次へをクリックします。
- 前のダイアログボックスで設定をクリックした場合は、カスタムセットアップ画面が表示されます。必要に応じて変更し、次へをクリックします。プログラムを変更する準備ができた画面が表示されます。インストールをクリックします。
- 前のダイアログボックスで修復をクリックした場合は、プログラムを修復する準備ができた画面が表示されます。インストールをクリックします。
- 4 プロセスが完了したことを示すメッセージが表示されたら、完了をクリックします。

QPS SERVERへのRAMの割り当て

JVMに割り当てられるメモリの量を変更することができます。Mac OSまたはWindowsでは、空きメモリ量の50パーセント以下にすることを勧めます。また、Windowsでは割り当て量を1536MB以下にしてください。

MAC OS

Mac OSでQPS Serverに割り当てられるメモリ量を調整するには、下記の手順に従います。

- 1 QPS Serverを停止します。
- 2 "QPS Server"アプリケーションフォルダで"ServerStartup.command"を探し、テキスト編集アプリケーションで開きます。
- 3 「java -server -Xmx512m -classpath」を探します。「512M」は、512MBのRAMがQPS Serverに割り当てられることを示しています。
- 4 使用可能なメモリの50パーセントまでの範囲で値を調整します。
- 5 "ServerStartup.command"を保存して閉じ、QPS Serverを再起動します。

WINDOWS

Windowsでは、QPS Serverの起動方法に応じて、メモリ割り当てを異なる場所に指定できません。

- 1 QPS Serverを停止します。
- 2 QPS Server起動時にQPS Server ConsoleまたはQPS Server Windowsサービスを使用する場合は、"wrapper.conf"ファイルを開きます。
- 3 "wrapper.java.maxmemory"プロパティを探します。
- 4 値を調整します。設定できる値は最大1536で、使用可能なメモリの50パーセントを超えることはできません。
- 5 変更を保存し、QPS Serverを再起動します。
- 6 "Serverstartup.bat"を使用する場合は、以下の手順に従ってください。
- 7 QPS Serverを停止します。

- 8 "ServerStartup.bat"をテキスト編集アプリケーションで開きます。
- 9 "java -server -Xmx512m -classpath"を探します。"512M"は、512 MBのRAMがQPS Serverに割り当てられることを示します。
- 10 値を調整します。設定できる値は最大1536で、使用可能なメモリの50パーセントを超えることはできません。
- 11 変更を保存し、QPS Serverを再起動します。

QPS XTENSIONSソフトウェアのインストール

QPS Connect Clientインストーラを実行する前に、QuarkXPress 8およびQuarkCopyDesk 8をクライアントコンピュータにインストールしておく必要があります。QuarkXPress 8およびQuarkCopyDesk 8のReadMeファイルの手順に従います。アプリケーションを起動してインストールが成功したことを確認し、アプリケーションを終了します。

QPS Connect Clientインストーラは、コンピュータ上のQuarkXPress 8およびQuarkCopyDesk 8を検索し、QPS XTensionsソフトウェアを各プログラムのアプリケーションフォルダにインストールします。

- ➡ また、QPS Connect Clientインストーラは、QuarkXPressおよびQuarkCopyDeskのDejavu XT XTensionsソフトウェアを無効にします。Dejavu XT XTensionsソフトウェアによって、開くサブメニュー（ファイルメニュー）に最近使用したファイルが一覧表示されますが、これによりQPS環境のパフォーマンスが低下する可能性があります。

QPS Connect ClientインストーラがQuarkXPress 8およびQuarkCopyDesk 8の場所を特定できない場合、XTensionsソフトウェアを"QPS Client"フォルダのルートレベルにコピーします。この場合、下記の手順を使用してQPS XTensionsソフトウェアをインストールします。

MAC OS

- 1 QuarkXPress 8およびQuarkCopyDesk 8を終了します。
- 2 "QPS Client"フォルダのルートレベルの"For QuarkCopyDesk"の"XTensions"フォルダを開き、XTensionsソフトウェアファイルを"QuarkCopyDesk 8"アプリケーションフォルダの"XTensions"フォルダにコピーします。
- 3 Dejavu XT XTensionsソフトウェアファイルを"XTensions"フォルダから"XTensions Disabled"フォルダに移動します。
- 4 "QPS Client"フォルダのルートレベルの"For QuarkCopyDesk"の"Help"フォルダを開き、コンテンツを"QuarkCopyDesk 8"アプリケーションフォルダの"Help"フォルダにコピーします。
- 5 "QPS Client"フォルダのルートレベルの"For QuarkCopyDesk"の"Documents"フォルダを開き、コンテンツを"QuarkCopyDesk 8"アプリケーションフォルダの"Documents"フォルダにコピーします。
- 6 "QPS Client"フォルダのルートレベルの"For QuarkCopyDesk"の"APP"フォルダを開き、コンテンツを"QuarkCopyDesk 8"アプリケーションフォルダのルートレベルにコピーします。
- 7 "QPS Client"フォルダのルートレベルの"For QuarkXPress"の"XTensions"フォルダを開き、XTensionsソフトウェアファイルを"QuarkXPress 8"アプリケーションフォルダの"XTensions"フォルダにコピーします。

- 8 Dejavu XT XTensionsソフトウェアファイルを"XTensions"フォルダから"XTensions Disabled"フォルダに移動します。
- 9 "QPS Client"フォルダのルートレベルの"For QuarkXPress"の"Help"フォルダを開き、コンテンツを"QuarkXPress 8"アプリケーションフォルダの"Help"フォルダにコピーします。
- 10 "QPS Client"フォルダのルートレベルの"For QuarkXPress"の"Documents"フォルダを開き、コンテンツを"QuarkXPress 8"アプリケーションフォルダの"Documents"フォルダにコピーします。
- 11 "QPS Client"フォルダのルートレベルの"For QuarkXPress"の"APP"フォルダを開き、コンテンツを"QuarkXPress 8"アプリケーションフォルダのルートレベルにコピーします。

WINDOWS

- 1 QuarkXPress 8およびQuarkCopyDesk 8を終了します。
- 2 "QPS Client"フォルダのルートレベルの"For QuarkCopyDesk"フォルダにあるすべてのファイルとフォルダを"QuarkCopyDesk 8"アプリケーションフォルダにコピーします。
- 3 Dejavu XT XTensionsソフトウェアファイルを"XTensions"フォルダから"XTensions Disabled"フォルダに移動します。
- 4 "QPS Client"フォルダのルートレベルの"For QuarkXPress"フォルダにあるすべてのファイルとフォルダを"QuarkXPress 8"アプリケーションフォルダのルートレベルにコピーします。
- 5 Dejavu XT XTensionsソフトウェアファイルを"XTensions"フォルダから"XTensions Disabled"フォルダに移動します。

QPSソフトウェアのアップグレード

QPS 8にアップグレードする場合は、QPS Serverをアップグレードする前にすべてのアセットをチェックインして下さい。QPS File Serverを保持できます。各QuarkXPressプロジェクトおよびQuarkCopyDeskアークイクルは、アセットをチェックアウトしてチェックインし直したときにQPS 8フォーマットに変換されます。

QuarkソフトウェアをQuark License Administrator (QLA)で管理している場合は、アップグレードの前にライセンスをチェックインしてください。

QPS 8にアップグレードする前にQPS 7.4のインストールが必要です。QPS Connect Clientをアップグレードするには、QPS Connect Client 7.4をアンインストールし、QPS Connect Client 8をインストールします。QuarkCopyDeskおよびQuarkXPressをアップグレードするには、それぞれのReadMeファイルの手順を参照してください。また、アップグレードの手順は「*QuarkXPress Server 8.0 ReadMe*」を参照してください。QuarkXPress ServerのQPS XTensionsソフトウェアをアップグレードする前に、まず以前のバージョンのQPS XTensionsソフトウェアをアンインストールします。QuarkXPress Serverをバージョン8に更新したら、QPS Server 8インストーラを実行してQuarkXPress ServerのXTensionsソフトウェアをインストールします。

QPS 8には、以下のサーバーコンポーネントの更新プログラムが含まれます。

- QPS Server
- QPS Database

QPS Serverの設定をインストール後に変更したQPS 7.4ユーザーは、QPS 8への更新の後でこれらのカスタム設定の一部を修復する必要がある場合があります。しかし、QPS Server 8 Updaterは以下の設定を自動的に保持します。

- QPS Database設定
- QPS Serverアプリケーションフォルダ内の"conf"フォルダ内の"ManagerConfig.xml"ファイル内で指定されるQuarkXPress Serverのマシン名/IPアドレスおよびポート番号
- Multiple Network CardsおよびNetwork Address Translation (NAT)サービスを実行しているファイアウォールを通るアクセスに関係する"ServerApp.properties"ファイル内のプロパティ("server.machinename"、"server.bindtoip"、および"server.additionalnames")
- "ServerApp.properties"ファイル内で定義されるQuarkXPress Serverのロケール("qxps.locale")

QPSソフトウェアのアップグレード

- QPS ServerのJVMメモリ割り当て("wrapper.conf"ファイル内の"wrapper.java.maxmemory"プロパティおよび、Mac OSではServerStartup.commandscript、WindowsではServerStartup.batスクリプトに定義されている最大メモリ)

ただし、これらのQPS Server設定以外の変更を行った場合は、QPS 8更新プロセスの完了後にこれらの変更を手動で行う必要があります。QPS Server Updaterでは、参照しやすいように、"QPS Server"アプリケーションフォルダ内の"conf"フォルダを、カスタム設定のあるファイルを含む"conf_old"フォルダを作成することによって自動的にバックアップします。

- ➡ QPS 8の更新後、すべてのアセットの索引を再度作成する必要があります。
- ➡ QPS Server 7.xのスクリプトを使用している場合は、QPS 8への更新後にスクリプトをテストする必要があります。QPS Server 8との互換性を保証するためにスクリプトを手動で編集する必要がある場合があります。
- ➡ さらに、更新されたQuark Job Jackets® (ジョブジャケット) ファイルでQPS Serverを更新する必要があります。

QPS SERVERの更新 (MAC OS)

QPS 7.4のインストール時にHSQL DBをインストールした場合は、QPS Server 8更新プログラムにより、QPS Serverの更新処理中に自動的にHSQL DB データベースが更新されます。

QPS ServerをQPS 7.4からQPS 8に更新するには、以下の手順に従ってください。:

- 1 QPS 8にアップグレードする前に、インストールされたHSQL DBが一貫しており、ユーザーが利用できることを保証するために、QPS Serverを再起動してから再度QPS Serverを停止します。
- ➡ QPS 7.xからQPS 7.4にアップグレードするときにもこの手順を実行する必要があります。
- 2 QPS Server ConsoleとQPS Server StatusMenuを終了します。
- 3 現在のQPS Serverインストールフォルダのバックアップを作成します。具体的には、"conf"フォルダ、スクリプト、データベース、Quarkジョブジャケットファイル、FTS Indexファイル、およびログファイルのコピーがあることを確認してください。
- 4 QPS Serverアップデートをダブルクリックします。
認証画面が表示されます。名前とパスワードを入力します。
- 5 続けるをクリックします。
インストール先の選択画面が表示されます。
- 6 続けるをクリックします。
- 7 プロセスが完了したら終了をクリックします。
- 8 QPS Serverを起動します。

QPS SERVERの更新 (WINDOWS)

QPS 7.4のインストール時にHSQL DBをインストールした場合は、QPS Server 8更新プログラムにより、QPS Serverの更新処理中に自動的にHSQL DB データベースが更新されます。

QPS 7.4のインストール時にMicrosoft SQL Serverを選択した場合は、データベースを更新するためにQPS Database更新プログラムを実行する必要があります。

QPS ServerをQPS 7.4からQPS 8に更新するには、以下の手順に従ってください。:

- 1 QPS 8にアップグレードする前に、インストールされたHSQL DBが一貫しており、ユーザーが利用できることを保証するために、QPS Serverを再起動してから再度QPS Serverを停止します。
- ➡ QPS 7.xからQPS 7.4にアップグレードするときにもこの手順を実行する必要があります。
- 2 QPS Server ConsoleとQPS Server StatusMenuを終了します。
- 3 現在のQPS Serverインストールフォルダのバックアップを作成します。具体的には、"conf"フォルダ、スクリプト、データベース、Quarkジョブジャケットファイル、FTS Indexファイル、およびログファイルのコピーがあることを確認してください。
- 4 "QPS Server.exe"ファイルをダブルクリックします。インストーラは自動的にQPS 7.4インストールを検出して更新モードに切り替わります。
- 5 次へをクリックします。
- 6 画面の指示に従います。
- 7 プロセスが完了したら完了をクリックします。
- 8 QPS Serverを起動します。

QPS DATABASEの更新 (WINDOWS)

Windows上でQPS Databaseを更新するには、下記の手順に従ってください。

- 1 "Updater > QPS Server > Database"フォルダの"Update.exe"ファイルをダブルクリックします。
- 2 画面の指示に従います。
- 3 更新が完了したら、完了をクリックします。

QPS DATABASEの更新 (ORACLE)

QPS DatabaseにOracleを使っている場合は、以下に示す手動の手順を実行してQPS 7.4からQPS 8に更新します。

- 1 QPS Serverをシャットダウンします。
- 2 QPS DVDで"Installer > QPS Server > Database > Oracle > Update"フォルダに移動します。
- 3 "Update"フォルダをDVDからOracleをインストールしたコンピュータのローカルのハードドライブにコピーします。"Update"フォルダにはデータベース更新スクリプトが含まれます。

QPSソフトウェアのアップグレード

- 4 コマンドプロンプトを開き、“Update”フォルダに移動します。
- 5 以下の引数で"Update.bat"ファイルを実行します。
 - SysPwd:データベースのSYSユーザーのパスワード
 - QPPUser:QPSスキーマの名前
 - QPPPwd:QPSスキーマのパスワード
 - ServiceName:Oracleサービス名

QPS Serverの起動

Mac OSとWindowsでは、QPS Serverの起動方法が異なります。Mac OSでは、QPS Serverのインストールが完了すると、QPS Server Consoleが表示され、QPS Serverを起動をクリックできます。また、QPS Serverをサービスとしてインストールするか、マシンが再起動したときに自動的に起動をオンにすると、QPS Serverコンピュータを再起動したときにQPS Serverが自動的に起動します。

MAC OS

Mac OSでQPS Serverを起動するには、以下の手順に従います。

- 1 アップルメニューでシステム環境設定を選択します。
システム環境設定ウィンドウが表示されます。
- 2 システム環境設定ウィンドウの下部にあるその他の下のQPS Serverをクリックします。
QPS Server Consoleが表示されます。
- 3 QPS Serverを起動をクリックします。
サーバーの状況フィールドに起動中と表示された後、稼動中と表示されます。

WINDOWS

WindowsでQPS Serverを起動するには、以下の手順に従います。

- 1 スタート > すべてのプログラム > QPS Server > QPS Server Consoleを選択します。
QPS Server Consoleが表示されます。
- 2 QPS Serverを起動をクリックします。
サーバーの状況フィールドに起動中と表示された後、稼動中と表示されます。

QUARKXPRESS SERVERとサブレンダラーの再起動の自動化

QuarkXPress Serverをインストールしたら、以下のパラメータを指定して、サブレンダラーの監視機能を有効にしてQuarkXPress Serverが起動されるようにします。QuarkXPress Serverのマスタープロセスは、サブレンダラーのプロセスを監視し、必要に応じてサブレンダラーを再起動します。監視の間隔を指定するには"-queryinterval"パラメータを使用し、再試行の回数を指定するには"-noofretries"パラメータを使用します。

MAC OS

- 1 テキスト編集アプリケーションを使って、"QuarkXPress Server"アプリケーションフォルダのルートレベルから、"QuarkXPressServer.config"を開きます。
- 2 下記を入力します。COMMANDLINE=`--subrenders 2 -noui -monitorsubrenders -queryinterval 60 -noofretries 3 -recycle`
- 3 "QuarkXPressServer.config"を保存します。

WINDOWS

- 1 テキスト編集アプリケーションを使用し、"QuarkXPress Server"アプリケーションフォルダのルートレベルから"QuarkXPressServer.config"を開きます。
- 2 以下を入力します。COMMANDLINE=`--subrenders 2 -noui -monitorsubrenders -queryinterval 60 -noofretries 3 -recycle`
- 3 "QuarkXPressServer.config"を保存します。

アンインストール

QPS SERVERのアンインストール

MAC OS

QPS Serverをアンインストールするには、まずQPS Serverをシャットダウンし、QPS Server ConsoleおよびQPS Serverの状況メニューを終了します。次に、QPS Serverのアプリケーションフォルダを開いてQPS Server Uninstallerをダブルクリックし、画面の指示に従います。

WINDOWS

QPS Serverをアンインストールするには、以下の手順に従います。

- 1 QPS Serverを停止し、QPS Server Consoleを終了します。
 - 2 スタート > すべてのプログラム > QPS Server > QPS Serverのアンインストールを選択します。
 - 3 はいをクリックします。アンインストール処理に必要な情報がアンインストーラによって収集されます。
 - 4 はいをクリックして続行するか、いいえをクリックしてキャンセルします。
- ➡ アンインストーラは自動的に終了し、メッセージは表示されません。
- ➡ QPS Serverソフトウェアの削除は、コントロールパネル > プログラムの追加と削除から行うこともできます。

QPS CONNECT CLIENTのアンインストール

MAC OS

QPS Connect Clientアプリケーションをアンインストールするには、下記の手順に従ってください。

- 1 ハードドライブの"Applications"フォルダ (またはQPS Connect Clientアプリケーションをインストールしたフォルダ) を開き、その"QPS Client"フォルダをごみ箱にドラッグします。

アンインストール

- 2 以下のフォルダをQuarkXPressおよびQuarkCopyDeskアプリケーションフォルダから削除します。
 - QPPCore.framework
 - QPPPluginInterface.framework
 - QPPPlugins
 - QPPServiceProxy.framework
 - QPPUIExtensions.framework
 - QPSLog
 - QPSXControls.framework
 - UIAccessLayer.framework
- 3 以下のファイルをQuarkXPressおよびQuarkCopyDeskアプリケーションフォルダから削除します。
 - libFileTransferGatewayConnectors.ub.r.dylib
 - libQpplioBindings.dylib

WINDOWS

QPS Connect Clientアプリケーションをアンインストールするには、下記の手順に従ってください。

- 1 QPS Connect Clientを終了します。
 - 2 スタート > すべてのプログラム > QPS Client > QPS Clientのアンインストール を選択します。
 - 3 はいをクリックします。アンインストーラがアンインストールに必要な情報を収集し、QPS Connect Clientアプリケーションフォルダの内容が削除されることを示す警告が表示されます。
 - 4 はいをクリックして続行するか、いいえをクリックしてキャンセルします。
- ➡ QPS Connect Clientをアンインストールすると、QuarkCopyDesk用およびQuarkXPress用QPS XTensionsソフトウェアも削除されます。

QPS XTENSIONSソフトウェアのアンインストール

QuarkXPressおよびQuarkCopyDeskのQPS XTensionsソフトウェアをアンインストールするには、アプリケーションフォルダのルートレベルにある"XTensions"フォルダからファイルを削除します。

最終段階での変更

下記の情報は、QPS 8マニュアルの完成後に利用できるようになりました。

既知および解決済みの問題

このバージョンのソフトウェアに存在する既知の問題および解決済みの問題の一覧については、QuarkのWebサイト (www.quark.comまたはeuro.quark.com) にアクセスしてください。

Quarkへの連絡

このソフトウェアのインストール、設定、または使用方法についてのご質問は、Quarkにお問い合わせください。

南北アメリカ

企業向け製品 (QPSおよびQuarkXPress Server) のテクニカルサポートについては、800.788.0045 (月～金、午前7:00～午後6:00、米国山岳時間) までお電話でお問い合わせいただくか、またはenterprisesupport@quark.com宛てに電子メールでご連絡ください。

デスクトップ製品 (QuarkXPressおよびQuarkCopyDesk) のテクニカルサポートについては、800.676.4575 (月～金、午前7:00～午後5:00、アメリカ山岳部時間) までお電話でお問い合わせいただくか、またはtechsupp@quark.com宛てに電子メールでご連絡ください。

製品情報については、Quarkウェブサイトwww.quark.comをご覧ください。または、cservice@quark.com宛てに電子メールでお問い合わせください。

南北アメリカ以外の国々

テクニカルサポートの電話での受付時間は、中央ヨーロッパ時間の月～金、8:30～17:30です。電子メールでのお問い合わせの宛先は、eurotechsupp@quark.comです。

オーストリア、ベルギー、デンマーク、フランス、ドイツ、アイルランド、ルクセンブルグ、オランダ、およびイギリスでは、電話で00800 1787 8275に問い合わせてください。

南北アメリカ以外のその他すべての国では、+41 32 720 14 14にお問い合わせください。

企業向け製品 (QPSおよびQuarkXPress Server) のテクニカルサポートについては、(00) 800-2505-2606 (午前8:30～午後5:30 (CET) (GMT+1)) にお電話でお問い合わせいただくか、またはenterprisesupport@quark.com宛てに電子メールでご連絡ください。

製品情報については、Quarkウェブサイトeuro.quark.comをご覧ください。または、eurocservice@quark.com宛てに電子メールでお問い合わせください。

QUARKへの連絡

オーストラリア

テクニカルサポートについては、1800.670.973 (月～金、午前10:00～午後7:00、シドニー時間 (AEST)) にお電話でお問い合わせいただくか、または austechsupp@quark.com宛てに電子メールでご連絡ください。

法律上の注記

本書の内容および構成は、著作権により保護されています。©2008 Quark, Inc. All rights reserved.

本書に記載されている技術は、著作権により保護されています。©1990–2008 Quark, Inc. and its licensors. All rights reserved.

また、米国特許番号5,541,991、5,907,704、6,005,560、6,052,514、6,081,262、6,633,666 B2、6,947,959 B1、6,940,518 B2、7,116,843および出願中の特許の1つまたは複数によって保護されています。Quark製品および資料は著作権の対象であり、米国およびその他の各国の知的財産保護法によって保護されています。Quarkの書面による同意なしに使用および複製することを禁じます。

Quarkは、サードパーティソフトウェア、またはその他のサードパーティハードウェア（以下「サードパーティ製品」）の製造業者ではなく、これらのサードパーティ製品は、Quark、Quarkの関連会社またはそれらのライセンサーによって作成されたものではなく、その審査または検査を受けたものでもありません（ここでいうQuarkの関連会社とは、現時点で存在する、または今後設立される、QuarkまたはQuarkの親会社もしくはQuarkの株主の過半数を支配する、またはそれらによって支配される、またはそれらと共通の支配下に置かれる任意の個人、支店または事業体を意味し、これには、今後その地位を取得する任意の個人、支店または事業体も含む）。

Quark、Quarkの関連会社および / またはそれらのライセンサーは、明示的または黙示的であるかを問わず、Quark製品 / サービスおよびサードパーティ製品 / サービスあるいはそのいずれかの商品性または特定目的適合性に関する一切の保証を否認します。また、Quark製品 / サービスおよびサードパーティ製品 / サービスに関する一切の保証を否認します。また、明示的、黙示的または付随的であるかを問わず、またディストリビュータ、小売業者、XTensionsデベロッパーまたはその他のサードパーティのいずれかによるものであるかを問わず、その他のすべての保証および条件に関する責任を否認します。これには、非侵害、互換性、ソフトウェアにエラーがないこと、またはエラーの訂正が可能なこと、もしくはエラーが将来訂正されることに関する保証が含まれますが、これらに限定されるものではありません。サードパーティが、サードパーティ製品やサービスに関して限定的な保証を提供する場合があります。このような保証が存在する場合、ユーザーは当該のサードパーティに問い合わせる必要があります。自治体、州、地域によっては、黙示の保証責任の制限が認められていません。その場合、上記の制限は特定のユーザーには適用されないことがあります。

いかなる場合においてもQuark、Quarkの関連会社および / またはそれらのライセンサーは、その形式や発生事由、責任の理論の如何を問わず、Quarkの製品 / サービスのインストールまたは使用に起因するあらゆる逸失利益、時間的喪失、貯蓄の損失、データの損失、料金の損

失または経費を含むがこれらに限定されない、特別的、間接的、付随的、結果的または懲罰的損害賠償について、一切責任を負いません。前記事項にかかわらず、Quark、Quarkの関連会社および / またはそれらのライセンサーが、Quark製品 / サービスおよびサードパーティ製品 / サービスあるいはそのいずれかに関して責任があることが判明した場合には、その賠償額は、問題となっているソフトウェア / サービス (サードパーティ製品 / サービスを除く) に関して、ユーザーがQuarkに対して支払った金額または準拠法に基づく最低額のうち、いずれか低い方に限定されるものとします。これらの制限は、たとえQuark、Quarkの関連会社、それらのライセンサーおよび / またはそれらの代理人が、このような損害の可能性を通知されていた場合であっても適用されます。自治体、州、地域によっては、付随的または結果的損害賠償の責任排除または制限が認められていません。その場合、この制限または責任排除は適用されないことがあります。出訴期限法を含む準拠法に基づき認められるその他すべての制限は、引き続き適用されるものとします。

これらの規定のいずれかが、準拠法に基づいて執行不能であるか、または執行不能となった場合には、規定を施行可能にするために必要な範囲において、該当する規定を修正するか、または該当する規定の効力を制限するものとします。

Quarkの製品の使用は、エンドユーザーライセンス契約または該当する製品およびサービスに適用されるその他の契約の条項に従うものです。それらの契約と本書の規定との間に矛盾があった場合には、該当する契約が優先して適用されるものとします。

Quark、Quarkロゴ、QuarkXPress、Quark Publishing System、QPS、QuarkCopyDeskおよびXTensionsは、Quark, Inc.とQuark関連会社の米国およびその他各国における商標または登録商標です。Sun、Sun Microsystems、Sunロゴ、およびSunならびにJavaに関連するすべての商標は、米国ならびにその他各国におけるSun Microsystems, Inc.の商標または登録商標です。SPARCは米国ならびにその他各国におけるSPARC International, Inc.の商標または登録商標で、すべて許可を得て使用されています。SPARCの商標を持つ製品はSun Microsystems, Inc.の開発したアーキテクチャに基づいています。Mac OS、Xserve、iMac、Apple、Safari、およびMacBookは米国およびその他各国で登録されたApple, Inc.の登録商標です。Microsoft、Internet Explorer、SQL Server、Windows VistaおよびWindowsは、米国および / またはその他の国におけるMicrosoft Corporationの登録商標です。

PowerPCはInternational Business Machines Corporationの登録商標です。

Intel、vPro、Pentium、Xeon、およびCoreはIntel Corporationの商標または登録商標です。MozillaおよびFirefoxは、Mozilla Foundationの商標です。Oracleは、Oracle Corporationおよび / またはその関連会社の登録商標です。その他のすべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。